

稲作経営体の複合化に必読!!

白ねぎ栽培のすゝめ

篤農家は、湿気る田んぼで野菜を作らず、機械を使って疲れを知らず。



需要や販路が多く、
価格が安定!!



少ない面積でも、
大きな売上!!



集落内の
マンパワーを発揮!!



機械化で、大規模
に栽培できる!!

平成26年3月

富山県園芸振興推進協議会
富山しろねぎブランド向上推進協議会
富山県野菜協会

1 「白ねぎ」栽培の現状とメリット

- 白ねぎは**需要が多くある**ことに加え、「富山しろねぎ」は、県内外の市場からの評価が高く、**販路が安定**しており、**価格変動も小さい**。
- 露地野菜の中では、**単位面積あたりの所得が高く**、限られた面積の取り組みでも大きな所得が期待できる。
- 主穀作作業との競合が少ない**。
- 県内全域に、小規模～大規模栽培まで**多くの取り組み事例**があり、営農計画策定の参考にできる。
- 主要作業(播種、定植、収穫、調製等)ごとに、簡易な機械～高性能機械まで、複数の専用機械があり、**規模別の機械化一貫体系が確立**しており、省力化、軽労化が可能である。

白ねぎは、主穀作経営の複合化品目として、たいへん魅力的な品目です。是非、白ねぎ栽培の新規導入、更には規模拡大をご検討下さい。

2 主穀作経営の複合化品目として「白ねぎ」を定着させる(成功に導く)ポイント

経営目標の明確化と共有

まず、**経営目標を設定**する(作付規模、単収、労働時間、経営収支など)。*経営目標の設定にあたっては、7頁を参照

特に、営農組織では、その経営目標を**構成員全員で共有**し、一丸となって、目標達成に向けて取り組む。

経営目標・作付規模に応じた機械導入

作付面積に応じた、機械化体系や機械の必要台数を決定し、機械・施設等の導入整備を図る。

*機械化体系の決定にあたっては、5～6頁を参照

栽培圃場の選定と条件整備

溝底に植え付ける白ねぎは、特に湿害を受けやすいため、**排水のよい圃場を選定**するとともに、**額縁排水溝**や**弾丸暗渠**の設置等、万全の湿害対策を実施する。

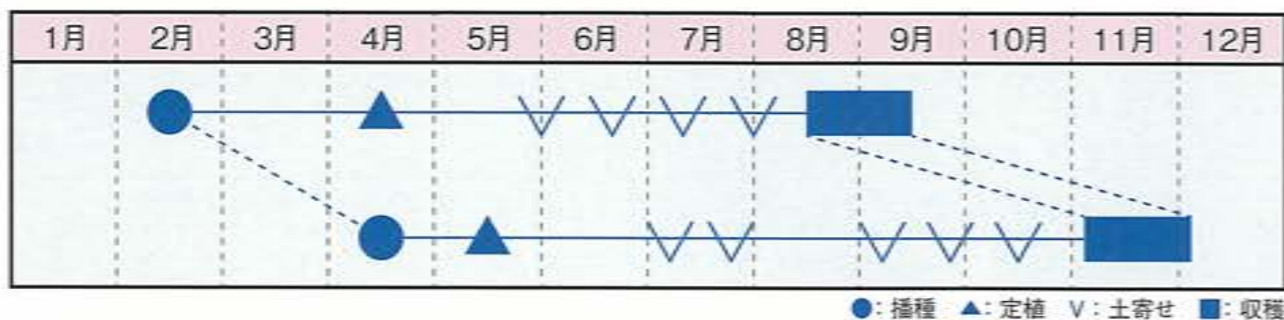
収穫～調製・選別・箱詰め作業の効率化

収益性を高めるためには、作業の効率化による労働時間の短縮が不可欠。

特に、作業時間全体の80%程度を収穫・調製作業が占めるため、ムダな移動や動作が発生しないよう、**人員数、作業工程、各種機械の配置等について十分に検討**する。

3 主な作型・栽培管理

●作 型



●育 苗

- ・播種機等でチェーンポット又はセルトレイに播種する。
- ・ビニルハウス等で育苗する。

育苗期間の目安

播種期	期 間
2月	70~60日
3月	60~40日

※大面積で栽培する場合、時期をずらしながら、播種・定植作業をする必要があります。

●圃場準備

- ① 前年の秋・・・サブソイラー等で心土破碎し、額縁排水溝を設置する。
- ② 融雪後・・・除草剤(茎葉処理剤)を散布し、発生している雑草を枯らす。
- ③ 耕起前・・・発酵鶏ふん、苦土石灰を全面施用する。



●定植当日の作業

- ① ゆっくりと深耕する(ロータリーは高速回転、走行は低速で)。
- ② 100~120cm間隔で20cm程度の深さの植え溝を掘る。
- ③ 基肥一発肥料を植え溝にまく(1mあたり70g程度)。

<施肥例>

肥料名	基 肥	成 分 量 (kg/10a)		
		N	P	K
発酵鶏糞(全面施用)	150	3.0	9.0	4.5
苦土石灰(全面施用)	160			
基肥一発肥料(※)条施用	60	14.4	6.0	8.4
合 計		17.4	15.0	12.9

※基肥一発肥料:「なっちゃんエース」または「あきちゃんエース」

- ④ 定植機で1条ずつ定植する。

●圃場管理

- ① 定植から45日程度で1回目の土寄せ(削り込み)を行う。
- ② その後、20~30日間隔を目安に3~4回、土寄せを行い、最終的に30cmの土を寄せる。
- ③ 栽培期間中に、病虫害防除や除草作業を行う

●収 穫

- ・最終土寄せ後、20~40日後を目安に、軟白長30cm以上を確保したら、収穫する。

軟白にかかる期間の目安

収 穫	期 間
9月	20~25日
10月	30日
11月	30~40日

●調 製

- ・収穫したネギは、根を切り、全長58cmに切りそろえる。
- ・皮を剥いて緑葉を3枚に調製する。
- ・規格毎に分け、テープで結束し、箱詰めする。

4 規模別の機械化一貫体系



●使用機械・参考価格

()内は減価償却費、耐用年数:7年

30a規模		3ha規模	
a チェーンポット播種セット	68(-)	A セル全自動播種機	543(77)
b 簡易定植機	80(-)	B 全自動移植機	929(132)
c 歩行用管理機	300(43)	C ハイクリアランス乗用管理機	7,635(542)
d 動力噴霧機	320(45)	(ブーム、カルチ、施肥機込)	白ねぎ負担割合50%
e トラクター用振動ネギ掘取機	260(37)	E 自走式収穫機	3,962(563)
f 皮むき機	590(84)	F 根葉切り皮むき機	2,092(297)
g 手動結束機(2台)	76(-)	G 全自動結束機	2,048(291)

5 経営収支・作業時間の目安

○経営収支

目標			経営試算				
作付規模	販売単価 (円/kg)	単収 (t/10a)	粗収入	生産費 ※固定費除く	粗収入 -生産費	10aあたり 労働時間	時間当たり労働報酬 ※固定費除く
30a	294円	2.7t	238万円 (794千円)	111万円 (371千円)	127万円 (423千円)	426時間	993円/時間
3ha	294円	2.3t	2,029万円 (677千円)	1,029万円 (343千円)	1,000万円 (334千円)	264時間	1,265円/時間

()内は10aあたり

○10aあたり生産費

(千円)

	変動費			固定費		生産費合計	
	30a規模	3ha規模		30a規模	3ha規模	30a規模	3ha規模
種苗費	53	54	減価償却費	70	63	782	618
肥料費	27	27	労務費 (@800円/時)	341	212		
農薬費	39	40					
その他経費	32	35					
販売費	220	187	固定費計	411	275		
変動費計	371	343					

○10aあたり労働時間

作業別労働時間

(時間)

作業名	労働時間		作業名	労働時間	
	30a規模	3ha規模		30a規模	3ha規模
圃場準備	9	5	防除	9	7
播種・育苗	22	16	収穫	66	30
定植	10	7	調製	272	181
土寄せ	38	18	合計	426	264

月別労働時間

(時間)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
30a		8	8	16	9	12	9	39	100	96	93	36	426
3ha		2	5	5	11	5	7	4	21	59	56	54	264

